

わたなべ 秀一

(ひでかず)



＼ご存知でしょうか???

守谷市で150億円規模の大事業が 進んでいます!

1人あたり年間 約10,000円※を20年に渡り払い
続ける金額です!「4人家族だと年間 約40,000円、
20年間で合計 約80万円になります!

※全市民 7万人、20年間で算出

守谷市では現在、総事業費約150億円規模の「(仮称)守谷市総合公園」新設事業を計画しています。「ヤクルト球場の隣地に公園は作ることは知っていたが、150億円は初耳」という方が沢山いらっしゃいます。是非、このチラシを機会に多くの市民の皆さんに事業計画について、一緒に考えてみていただけないでしょうか?

事業概要

事業概要 市人口の増加に伴う運動施設の不足や防災機能強化、ヤクルト二軍球場の建設などを目的に市が計画。事業の進め方は民間資金を活用するPFI方式を想定。

※8月17日に開催された「(仮称)守谷市総合公園新設整備・運営事業」の資料にて詳細を確認することができます。

https://www.city.moriya.ibaraki.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/010/958/setumeikaisiryou.pdf



▼守谷市防災ハザードマップ



▼建設予定地



地図上の赤いエリアが「(仮称)守谷市総合公園」の建設予定地です。
この場所で、防災公園として十分な機能を発揮できるのか——疑問が残ります。

※予定地はイメージ



8月17日に開催された市民説明会に
参加してきました!

総事業費は?

150億円(※1)です。

(※1) 最大で150億円(建設費:130億円、20年間の運営費:
20億円、建設費のうち最大で1/2は国費補助の見込

防災公園の機能と利用者は誰なのか?

水害を除いた防災機能を備えた公園です。災害時には、守谷SA利用者、公園利用者等が想定されます。市民の利用はあまり見込んでいません。

市民以外の方の防災所の整備について、守谷市の税金を150億もかけて実施する必要があるのか?

近隣市町村を含めた広域事業として理解してほしいと思います。

住民への説明はあったのか?

これまで広報での情報共有や市民向けワークショップ(30名、3回)を実施しました。

駐車場は有料とある、常総運動公園(※2)は無料のため市民は使いづらいと思うが、その点についてはどう考えているのか?

ヤクルト観戦者等の遠方からの利用を見込んでいます。

(※2) 常総運動公園駐車場の有料化を検討予定

常総運動公園と機能が重複しないか?

市内外の広域からヤクルト2軍施設に来る人が、総合公園にも気付いてリピートしてもらえるようにしたいと思います。

公共交通の整備はどうなるのか?

当面はヤクルト試合開催時の送迎バスをヤクルトに準備してもらうことで検討しています。また、日常的な市民の利用を考慮した公共交通機関の整備については公園事業者の意向も踏まえて検討していく予定です。

注) なお、要約していますので多少ニュアンスが変わっている可能性があります。ご了承ください。



写真は市のHPより抜粋 守谷市企画課主催

▶ わたなべ秀一の『HIDE'S Check』
は裏面にてご紹介!

タウンミーティングを開催します!

しいな愛子市議会議員も参加します。

11月3日(月/祝)

市内3ヶ所で
開催します。

ご家族お友達とお気軽にお越しください。
お子様連れ大歓迎です!

開催時間	会 場
10:30~12:00	文化会館(会議室)
14:30~16:00	郷州公民館(和室)
18:00~19:30	中央公民館(講座室)





市民の皆さんへ

わたなべ秀一の『HIDE'S Check』

この事業は、150億円という巨額の費用を投じる事業です。わたなべ秀一の考えをまとめました。

**① 国から補助が出るから建てる、で本当にいいのでしょうか？
半額は市民の税金です。**

建設費の半額に国費の補助が出るのは確かに大きなメリットです。しかし「国がお金を出してくれるから作る」ではなく、守谷に本当に必要な施設なのかをまず考えることが大事だと思います。

② 段階的な整備の推進（公園は少しずつ作ることもできます）

一度に全部整備すると大きなお金がかかり、見直すことが難しくなります。「まず必要なところから作り、あとから追加していく」方法なら、市民のニーズに合わせた公園づくりができるのではないかでしょうか。

③ 広域防災公園としての役割は十分でしょうか？

市からの説明では「高速道路の利用者の避難場所」や「東海村からの避難先」とありますが、長期間の避難生活（仮設住宅など）に本当に対応できるのか疑問です。国の補助を受ける条件に縛られないかも気になります。また、広域防災公園を守谷市のお金で整備する必要性についても疑問があります。

④ 市のビジョンを打ち出すべきだと思います

「総合公園」の事業目的が抽象的です。事業者にアイデアを委ねず

ぎるのではなく、例えば「守谷スマートICからアクセスしやすい立地を活かして、首都圏から遠足に来てもらえる公園（アンデルセン公園や清水公園）にする」など、市としてのビジョンを打ち出し、そのうえで民間のアイデアを募った方が分かりやすいと思います。

⑤ 大切なのは市民の声です

150億円という大きな事業にも関わらず、事業を知らない市民の方が多く、市と議会だけで決まっているのが現状とも言えます。今後の課題になりますが、アジュール跡地の取得や総合公園のような大規模な公共事業を進めるときには、市民の皆さんの声を反映できる仕組みがあってもいいと思います。身近な例ですと、2015年、つくば市では「つくば市総合運動公園の基本計画と、それにかかる市費の支出の賛否」が問われ、市民の声が計画の見直しにつながりました。



わたなべ秀一の考え方

わたなべ秀一は、総合公園の整備には賛成です。しかし、150億円規模の事業計画には疑問を持っています。

限られた税金（=リソース）を、優先順位をつけて使うことがこれからの時代に大切です。市民の皆さんにとって一番重要なのは、「自分たちの税金が本当に有効に使われているかどうか。」だからこそ、まず関心を持ってもらうことが大切です。一緒に、守谷の未来を考えていきましょう。



守谷駅東口「アワーズもりや」3階の公共施設新設情報

つくばエクスプレス開通以降、増加している守谷駅東口エリアですが、「子どもたちの居場所」がないという課題がありました。9月から「図書館臨時窓口」と「子どもたちの居場所」が開設しています。先日、地域の子ども達と見学にいってきました。

図書館の臨時窓口

守谷中央図書館が、大規模リニューアル工事のため、2027年1月末まで長期休館に入ったことに伴い、資料の返却や予約の受け取りができる、臨時窓口が開設されました。

室内での滞在はできませんのでご注意ください。

▶ 図書館長期休館及び臨時窓口の開設について

<https://www.city.moriya.ibaraki.jp/library/aboutus/notice/1010206.html>



**「子どもたちの居場所」として
小学生利用スペースが新設**

平日は午後1時から午後5時まで、また土日、祝日、長期休暇期間は午前10時から午後6時まで開設しています。

施設の半分は、体を動かせるスペースで卓球台等を設置して遊ぶこともできるそうです。また、半分は読書、ボードゲーム等をして、ゆっくり過ごせるスペースでした。

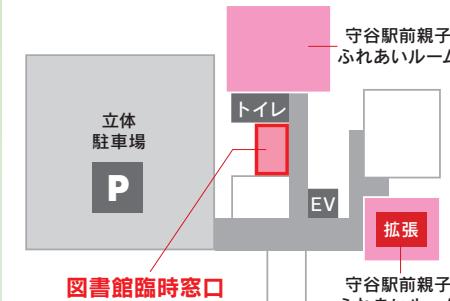
イベント等も不定期に実施しているようですので、小学生のお子さんがいらっしゃるご家庭は是非利用してみてください。

(※)5月から9月は午後6時まで

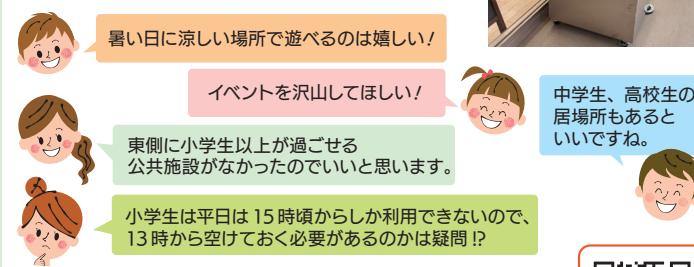
守谷市は、市政をより良くするために市民の皆さんからのご意見やご要望を受付しています。
ぜひ、皆さんの声を届けてみてください。



アワーズもりや 3階



利用者の声 - 子ども & 保護者 -



『わたなべ秀一』ってどんな“ひと”？

元守谷市議会議員4期（2012年2月～2024年9月）

昭和47年1月8日（53歳）守谷生まれ守谷育ち 家族構成：妻・子・母
学歴：黒内小学校 守谷中学校・守谷高校・千葉商科大学

明治大学専門職大学院ガバナンス研究科修了

好きな食べ物：妻の手打ちそばや、アジア料理、スパイス料理が大好きです。

趣味：DIY、食べ歩き、ゴルフ



夢は守谷の子どもたちのソウルフード！
『がぶりメンチ』の生みの親

守谷市のイベントでお馴染みのがぶりメンチ。2011年当時流行っていたB級グルメでまちおこしを目的に「守谷将門がぶりメンチ」をプロデュースしました。

